

小島克久

「新型コロナ禍の台湾における外国人介護労働者の動向：公表データを用いた分析」(優秀ポスター賞授与)

(小島克久 記)

第20回世界社会学会議

国際社会学会 (ISA) が4年に1回開催する世界社会学会議 (ISA World Congress of Sociology) の第20回大会は、2023年6月25日 (日)～7月1日 (土) にかけて、オーストラリア・メルボルンにて開催された。同学会は社会学における最大規模の国際学会であり、4,500名程度の会員が所属している。ISA が主催する大会のなかでも、4年に一度開催される世界社会学会議は、各国の社会学者が一堂に会する学会大会である。

社会学が扱う分野は多岐にわたるため、ISA にはテーマごとに Research Committee (RC) が設けられている。学会大会のセッションも、基本的には RC を単位として開催され、家族、教育、歴史、社会階層、都市、理論など社会学の各トピックについて最新の研究成果が報告された。

国立社会保障・人口問題研究所からは吉田が参加し、以下の報告を行った。
Yoshida, Wataru, "Trickle-Down Effect or Vice Versa? Examining the Effect of Female Managers in Japanese Firms, 2008-2016,"

それぞれのセッションでは、発表後にディスカッションの時間が設けられており、しばしばフロアと発表者の間で活発な議論が展開されていた。著者個人としても、同じセッションで報告していたオーストラリア国立大学の研究グループとセッション後に意見交換し、研究を進めるうえで重要な示唆を得られた。

今回の第21回大会は2027年に韓国・光州で開催予定である。(吉田 航 記)

韓国文化日報「文化将来報告」国際セミナー

韓国ソウルの大韓商工会議所国際会議場にて、2023年6月29日 (木) 14:00～18:20に、「文化将来報告 Munhwa Future Report」と題する国際セミナーが開催された。このセミナーは、韓国の日刊新聞社である文化日報社が主催する、グローバルかつ歴史的な課題について世界各国の専門家を招聘し開催しているもので、第6回に当たる今年の会議は、テーマを「人口-21世紀における国家興亡の鍵」とし、過去最低、世界でも最低水準である0.78という合計特殊出生率を記録した韓国が今後どのように成長し、年金、福祉、労働、教育、防衛といった各分野を切り盛りしていくのかビジョンを開くことを目的としたものである。

開会セッションでは、イ・ブンキュ (李丙圭) 文化日報会長の挨拶に始まり、ユン・ソンニョル (尹錫悦) 大統領のビデオメッセージの後、キム・ジンピョ (金振杓) 国会議長、ハン・ドクス (韓惠洙) 首相がそれぞれ会場で挨拶し、その後多くの政治家や企業関係者が紹介される形式で、韓国のメディアの在り方がよくわかるものであった。

第一部は国際的な人口動向について、ウォルフガング・ルッツ ウィーン大学教授が人口動向と教